

このとり通信

No.92

発行日：2017年10月10日 編集：広報委員会 <http://www.hacsw.or.jp/>

● 役員改選のお知らせについて

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会長 岡本 和久

秋涼の候、平素は当会の運営に御支援・御協力を賜り誠に有難うございます。

役員改選につきましては、一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員選出に関する細則（以下「役員選出に関する細則」という。）第2条により西暦偶数年毎に、その年の通常総会において行うことになっております。

そのため、一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員選出に関する規則（以下「役員選出に関する規則」という。）並びに役員選出に関する細則に則り、次頁のとおり、選挙管理委員を公募し、選挙管理委員会を設置した上で、選挙の公示、役員立候補者の公募、役員候補者名簿の公示などを経て、2018年6月の通常総会において役員改選を実施する予定です。

役員改選につきましては、今後、役員選出に関する規則並びに役員選出に関する細則による手順を踏んで適正に行ってまいりたいと考えておりますので、今後とも、何かと御支援・御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

兵庫県社会福祉士会 専用キャラクターの名前が決定しました!!

魅力ある会づくりの一環として、本会をより身近な存在として感じられる、明るく、親しみのある専用キャラクターを募集し、右のキャラクターを本会の専用キャラクターとして決定しました。そして、2017年6月1日～2017年7月21日の期間でキャラクターの名称を募集したところ、会員8名より17点の応募がありました。理事及びキャラクター作者による投票により最多票を得た黒川耕次さんの右記名称を、本会専用キャラクターの名称として決定しました。今後、本会の広報誌やホームページをはじめ、様々な広報媒体で活躍していく予定ですので、よろしくお願い致します。

ひょうのすけ
兵之助くんです。
よろしくね!

【名前の意味】

兵庫のあらゆる人々をお助けするために現れた、皆様の助っ人という意味を込めています。

目次

- お知らせ…………… 1
- 選挙管理委員の公募について… 2～3

特集

第25回 全国大会報告 … 4～7

- お知らせ…………… 7
- メーリングリストとは…………… 8
- ブロックインフォメーション…… 9～10
- 委員会だより…………… 11～13
- 事務局員募集…………… 15
- 事務局情報…………… 16

● 選挙管理委員の公募について

「一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員選出に関する規則」に基づき選挙管理委員の公募を下記のとおり実施します。

1 選挙管理委員の選出方法

2017年（改選年前年）10月発行の「このとり通信」紙上を通じて、公募する。

- (1) 公募人員：3名
- (2) 公募期間：10月10日～11月10日まで
- (3) 応募手続：所定の応募用紙に必要事項を記入し、郵送又はFAX、Eメールにて応募すること。（当日の消印有効）
- (4) 選挙管理委員の任務
一般社団法人兵庫県社会福祉士会役員の立候補者を公募し、一部人員の調整を含む選挙の管理執行を公正に行う。

2 選挙管理委員会の編成

- ・公募の結果、公募人数を上回った場合は、応募者の中から事務局で3人を抽選して選出する。
- ・応募が3名に満たないときは、その不足する人数を理事会の推薦により決定する。
- ・選挙管理委員は、互選により選挙管理委員長を選出する。

3 選挙管理委員会名簿の公表

2018年（改選年）1月の「このとり通信」紙上を通じて、選挙管理委員の名簿を公表する。

4 選挙管理委員の任期

任期は、2017年（改選年前年）12月1日から役員改選の総会終了時まで

5 その他

- (1) 選挙管理委員は、役員に立候補又は推薦することはできない。
- (2) 選挙管理委員は再任を妨げない。したがって、再度委員の公募に応じることができる。
- (3) この手続きにより解決できない事態が発生したときは、理事会の定めるところによる。

年 月 日

一般社団法人兵庫県社会福祉士会
会長 岡本 和久 様

選挙管理委員候補者応募届

私は、兵庫県社会福祉士会の選挙管理委員に応募します。

ふりがな			年	
氏名			齢	歳
住所		〒 TEL		
勤務先 役職		TEL		
会 員	合格	年度試験合格	登録番号第	号
	入会	年 月 日	会員番号第	号
会における主な役職歴				
備考				

一般社団法人兵庫県社会福祉士会



第25回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(福島大会) 「障害をこえて～共に歩む社会福祉士」

1日目 6月3日

講演

ソーシャルワーク専門職である社会福祉士への期待 ～地域共生社会の実現に向けた国の動向と今後の方向性をふまえて～

講師 厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課長 石垣 健彦氏

「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支援者・利用者」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が“我が事”として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて“丸ごと”つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことである。社会福祉士は、社会福祉

士に求められる価値・知識・技術を統合的に実践し、ソーシャルワークの機能を発揮することによって、地域共生社会の実現に資する「包括的な相談支援体制」及び「住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制」を構築・維持する役割を果たすこと期待されている。

基調講演

障壁を超えて～社会福祉士への期待 ソーシャルワークの力でセーフティネットを

講師 国立大学法人 一橋大学大学院社会学研究科 教授 猪飼 周平氏

戦後70年余りの努力にもかかわらず、セーフティネットを十分に張ることに失敗している。社会保障政策やそれに類する政策が採用した方式(防貧・救貧)は、元来セーフティネットを張りきれない性質を持っており、その限界が明確になったのが今日であると言える。新しいセーフティネットのコンセプトとして、「独力で対処できない生活困難を抱えるすべての人が伴走者を得られる社会」、「苦しみを独りで背負わされることのない社会」、「社会の隅々にま

でソーシャルワークが行き渡った社会」が挙げられるが、社会福祉士にこのような社会を作り上げる決意があるか。セーフティネットはソーシャルワークでしか張れない。それ故に本気で取り組んでほしい。また、伴走や寄り添いが、ニーズを抱えて生きている人々を支えるものであるという共感を社会に醸成していく必要がある。そのためにソーシャルワークの素晴らしさを社会に伝えていく努力もまた肝要である。

障壁を超えて～社会福祉士の使命

シンポジスト しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島 理事長 遠野 馨氏
 福島大学行政政策学類 特任教授 新村 繁文氏
 社会福祉法人牧人会 相談支援専門員統括責任者 渡邊 中氏
 コーディネーター いわき明星大学教養学部地域教養学科 教授 鎌田真理子氏

新村氏は福島刑務所視察委員長の立場から、障害・高齢者受刑者が増え続けている現状についての報告があった。支援がより必要な人ほど、刑務所に近い。なぜならば、“刑務所が一番安心できる場所”であるからだ。「相談にのってもらえたことや親切に話を聴いてくれたことがうれしかった」と話す受刑者もあり、社会的孤立から刑務所から出たり入ったりを繰り返す人が多い。社会福祉士への期待として、社会内・社会福祉内部に存在する（意識・知識・常識などを含む）各種のバリアの破壊・解消の先導役を担い、積極的なソーシャルアクションを望む。知的障害・高齢受刑者の中には本来福祉的支援があれば刑事施設に入る必要が無かったという人が少なくないという認識の普遍化が必要である。真に必要なのは出所後のスムーズな

社会復帰・社会的受容（ソーシャルインクルージョン）であり、そのための手厚い・組織的・体系的支援（多様な支援者のネットワークの構築）が必須。その結果・成果として再犯防止につながるのである。

また、渡邊氏は長年、障害児者の地域生活を支える取り組みをしている観点から、福祉専門職への期待を以下のように話した。福祉専門職は、差別や圧力と対峙し、社会の変革を促進する役割を持つ。「津久井やまゆり園事件」にも触れ、この犯罪は、障害者蔑視の氷山の一角であり、その底辺には程度の差があれ、社会的弱者を軽視し、差別する「心の障壁」が潜んでいる。福祉専門職が如何に他者と自らの意識改革をし、当事者と共に社会的障壁の除去を進めていくかが問われる。

2日目 6月4日

権利擁護 分科会

認知症高齢者の金銭管理を
支援するための銀行との連携について

銀行員に精神科医による認知症講義を行い、ロールプレイを実施してもらうことにより認知症を理解してもらう。また、銀行員の認知症の顧客に対する困りごとのアンケートをとることによって銀行員の苦勞も理解できた。金融機関

向けのガイドブックを精神科医・弁護士・司法書士と共に作成することもできた。それらをきっかけに銀行員にも地域ケア会議に出席してもらえるようになった。社会福祉士のソーシャルワーク力ここにありです。

お金の下に様々な問題がある。

銀行はマニュアルに縛られているがゆえに困りごとが多い。

社会福祉士の専門性と業務実態に関する研究
～宮崎県社会福祉士会アンケート調査から～

社会福祉士への問題意識・課題として多くみられたものが「社会福祉士と社会福祉主事の違いをわかってもらえない」「社会的な評価が低い」という「低認知度・低評価」であった。例えば、看護師などは説明をしなくとも仕事の内容がある程度イメージできるのに対し、社会福祉士は何をする人なのか、何ができるのかを質

問されても社会福祉士自身がうまく説明できないといったように、他の資格と比較して専門性を明確に示すことができない「不明瞭な専門性」がその根底にある。社会福祉士自身がしっかりと自己研鑽を積み、専門性を更に身につけ、その専門性を広く発信していくことが肝要である。では、社会福祉士の専門性とは？

一人ひとりが言語化できるようになることが求められる。

職能団体が行う災害支援のあり方を考える
～熊本県社会福祉士会、会員調査結果から～

災害時は、支援活動及び支援を行っていること発信する力「支援力」、支援を必要とする側の不足している支援についての発信や情報の受信といった適切に支援を受ける力「受援力」、その双方が必要とされる。支援力・受援力ともに平時から醸成する仕組みが必要である。日頃より職能団体に主体的に参加し、あるべき姿を考え議論し、ともに創り上げる過程こそが、スキルアップと絆を強固なものとし、支援力・受援力を高める。ややもすれば研修だけの団体になってしまいかねないが、社会福祉士同士が繋

がり、連携できる関係を築いていくことが災害時においても大きな力となる。職能団体に所属するということは、一朝一夕に得られるメリットだけではないという発信もまた大切である。

また、自身も被災者であるにもかかわらず、支援活動を行っていないことへの自責感情を抱いた会員も多く見られた。被災し支援することが困難であるという合理的な事実ではなく、専門職であるが支援をしないことは専門職の名に恥じることだと捉えているのである。被災者である専門職にとっては、こういった自責感情に苦しむことも明らかとなり、被災者・支援者という2軸だけではない支援での支援がヒューマンケア従事者の職能団体には求められる。

記念講演

福島は今とこれからを語る

～東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故は私たちに何を残したのか～

講師 フリーアナウンサー 大和田 新氏

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。その被害の大きさを示す際に用いられる死者数。約2万人の方が犠牲になったという情報は、新聞やテレビなどで報じられているため承知している人も多いだろう。しかし、単純に数字で表しきれない被害がそこにはある。

被災者に寄り添い、取材を重ね、震災当時の様子を綴った「大和田ノート」。講演の中でも、小学4年の女子児童や高校2年の男子学生の具体的なエピソードが語られた。そのエピソードとは、確かにその瞬間を“生きた証”。約2万

人の方が犠牲になったという背景には、一人ひとりに人生があり、様々なエピソードがある。そして、そういう方々を失ったという遺族がいる。それを忘れてはいけない。

また、震災から〇年が経ったと言われることもあるが、もしかすると「今日」という日が、次に起きる地震や災害等の前日かもしれない。震災はいつ発生するかわからない。だからこそ、今日という日が、その震災の前日かもしれないという意識を持つことが大切である。

第26回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会の開催地は山口県です。

開催日：2018年7月7日(土)～8日(日)

会場：山口市民会館・湯田温泉ホテルかめ福

お知らせ

広報誌をリニューアルしました！

広報委員会

本会では、兵庫県民や関係機関に社会福祉士や兵庫県社会福祉士会のことを広く知ってもらうために、広報誌を年2回発行しています。

今年度は、広報委員会内での経費削減に向けた努力により、昨年度までの印刷発行経費を3分の1に抑えつつ、フルカラーでの印刷発行ができるようになりました。これからも読みやすく、わかりやすい紙面作りに努めていきます。新しい広報誌は今回同封しています。お目通しください。

広報誌は社会福祉士の専門性や魅力、本会の活動などを一般にPRできる媒体です。広報活動に携わった経験がなくとも、興味・関心のある方は広報委員会にご参加ください。

また、これまで各ブロックの会員には、それぞれの関係機関に赴き、配布・配架の依頼をしていただいています。今後も引き続きご協力よろしくお願い致します。





メーリングリストとは



はじめに/メーリングリストの活用について

現在兵庫県社会福祉士会では、ひよこメーリングリストの運営をしています。登録すると便利なので、ご紹介させていただきます。

何ができるの？

登録者に対して一斉に同じ内容の文章を送信することができ、情報の共有が即座に行えます。また登録者は全員が発信者にもなることができ、発信者のトピックスについて登録者全員で双方向的なやりとりが可能になります。

事務局からは、日本社会福祉士会や関係団体、兵庫県下の事業所のイベント情報や求人情報などをタイムリーに発信しています。

登録していない方にはその情報は届きません。

注意点

- ・ひよこMLに登録しているアドレスを変更する場合は、ホームページの「お問い合わせ」からご連絡ください。アドレス無効によりエラーで戻ってくる場合は、メーリングリストから削除させていただきますので、予めご了承ください。
- ・携帯電話のメールアドレスでも登録は可能ですが、迷惑メール設定等によりメール受信ができない場合もあります。パソコンやフリーメール等での登録を推奨しています。

メーリングリスト登録方法



〈登録方法〉

- ①兵庫県社会福祉士会のホームページ (<http://www.hacsw.or.jp>) にアクセスする。
- ②ページ左の「メーリングリスト」というリンクにアクセスする。
- ③「メーリングリストについてよくあるご質問」をご一読ください。
- ④必要事項を入力し、送信する。

以上の手順を踏んでいただき、事務局で会員かどうかの確認の上で登録いたします。会員確認する都合上、即日登録できないことをご了承ください。

QRコードはこちら



神戸ブロック (ブロック長 増山 陽子)

まず、神戸ブロックの活動報告をします。

6月18日第12回の総会・記念イベントを神戸市健康づくりセンター 健康ライフプラザ3階研修室で開催しました。総会においては、すべての議案が可決され成立しました。その後、トークショー「神戸の福祉を明るく語ろう」と題して、3人のスピーカーに話題提供してもらい、参加者と共に語り合いました。神戸ブロックが企画している第1回目の“Le Lien (つながり)”になるような参加型のトークショーになりました。その後の懇親会も盛会にて終了しました。

7月23日の午前中に第1回目の役員会を開催し、役員の役割分担や今年度の活動計画を話し合いました。コミュニケーションツールとしてLINEを活用し、開かれた神戸ブロックを目指します。

次回、第2回役員会は2017年10月22日(日)に兵庫県福祉センター5階事務局にて開催します。次は、神戸ブロックの今後の予定をお知らせします。

①まちかど相談会 11月19日(日)10時～16時 神戸採光ドーム(デュオこうべ)にて開催します。スタッフも募集中です(別冊にて申込み受付中)

②研修会『相談援助のワークショップ』2018年2月10日(土)13時30分から16時30分に開催します。

講師は公立神崎総合病院のソーシャルワーカー谷 義幸氏です。会場等は新春号にお知らせします。

③第2回Le Lien (つながり) 上記研修会後に開催予定です。

★“Le Lien”(つながり)とは、楽しく集うための神戸ブロック独自の企画です。

どうぞ、お気軽に、神戸ブロックの活動にご参加ください。

西はりまブロック (ブロック長 塩 尻 点)

西はりまブロックでは顔の見える関係づくりを基本に、交流会、研修会などの活動を行っています。西はりまブロックは広い圏域です。そして地道に素敵な活動を展開している仲間がいます。「あっ!あの活動は彼がやってるんだ」「あの人に会いたいな」という出会い、語ることによる新しい気付き、一緒に創り出していく喜びを大切にします。

ブロックは本会活動の窓口です。本会との連携のもと5ヶ年計画の推進を図り、職能団体としての安定的な発展並びに社会福祉士の活動を展開させていきたいと思います。

「兵庫社会福祉セミナー in 西はりま」

本年度は、西はりまブロックにて開催します。内容などの詳細は検討中ですが、姫路市内にて11月11日（土）～11月12日（日）で予定しています。一緒にセミナーを創っていきませんか。実行委員として活躍していただける方は塩尻はじめ役員にお声掛け下さい。

「西はりまプレミアムフライデー」

メーリングリストやFacebookで案内しておりますが、ブロックでは基本毎月最終金曜日にプレミアムフライデーを開催し、つどいの場をつくり交流を深めています。会員、非会員、これから資格を目指す方などお誘い合わせの上どうぞ。出合いを大切に楽しい時間を過ごしましょう。
塩尻 点（しおじりともる）ts.shio@nike.eonet.ne.jp

<今後の予定>

※メーリングリスト登録方法

- ・ hacswnishiharima@gmail.com へ氏名、メールアドレスの記載メールを送ってください。
- ・ hacswnishiharima@googlegroups.com から登録完了メールを送付いたします。

※Facebook

- ・ PCやスマホなどから「西はりま地区ブロック」と検索してください。
- ・ イベント、研修案内などアップしますのでご参照ください。
- ・ 「いいね」「フォロー」よろしくお願いします。

お詫びと訂正

2017年夏号に掲載しました記事「東播ブロック 第9回総会開催のご報告」におきまして、講師の所属に誤りがありましたので訂正させていただきます。誤「ひょうご発達障害支援センター クローバー」→正「加西市基幹相談支援センターやすらぎ」。ご迷惑をおかけした皆様にはお詫び申し上げます。



委員会 ① だより

相談委員会

委員長 西垣和仁

当委員会では、毎月第2土曜日13:00～16:00（電話受付15:30）まで兵庫県福祉センター5階事務局内にて福祉なんでも相談を開催しております。

相談員は2名体制で行っており、電話対応が主となりますが、相談内容は高齢・障害・児童分野など多岐にわたります。当事者本人、家族や知人からの相談など電話や来所される方も様々であり、傾聴しているうちに相談内容が変わっていくこともあります。社会福祉士として相談援助技術と幅広い知識等が必要となります。

また、毎年秋頃、社会福祉士会各ブロックにて開催される「まちかど無料相談」にも相談員として参加しております。各ブロック活動に参加できる機会となり、各社会福祉士会会員からその地域に関すること、社会資源等や専門職としての在り方等を聞けるため、スキルアップの機会となります。

そして相談員も、それぞれ得意とする分野

があり、専門分野以外の相談では、戸惑うこともあります。このため、委員会メンバーも様々な専門分野から構成されています。

また、相談当番以外に勉強会を開催しており、勉強会では各テーマを決めて行う場合と、委員会メンバーが分からないことをお互いに質問して学んでいく場合とがあります。

質問や意見を聞きたいことなどは勉強会のテーマに沿っていないものでも構いません。委員会メンバーが普段の業務や相談支援においてわからないことや疑問に思ったことがあれば、各委員会メンバーがそれぞれ得意としている分野等回答することができます。

また、当委員会メンバーは複数の委員会に所属している場合もあり、他の委員会で興味のあるものがあれば、他の委員会開催日に一緒に参加できます。一人では参加しにくい場合もあると思いますので、相談委員会に限らず、いろんな委員会を見学して、興味のある委員会に参加してみてください。

委員会 ② だより

ソーシャルワーク研究委員会

委員長 酒井淳子

<委員会 会場>

神戸市東部在宅障害者福祉センター

<委員会内容>

誰かから学ぶのではなく、自分たちで学びあう場です。

積極的に話をし、話を聞き、ストレスの発散もしています。

実践の模擬事例を持ち寄りソーシャルワークの理論に当てはめてみる、そこから自分のとった言動がどんな根拠に基づくものなのか、皆で考えます。

理論についての知識も復習して参加いただく方がベターですが、積極的に参加していただく姿勢が一番です。ご自身の経験に似たようなことを皆が話している場です。

思いや経験を共有し、次の実践に活用できれば成功だと思っています。

11月の兵庫社会福祉セミナーは模擬事例を用いた研修を予定しています。

理論に関する簡単な解説を事前に配布できればいいのですが、当日のみの方もあってと思いますので検討中です。事例を使った理論の学習を考えています。

あくまで「理論を実践に活用する」ことが目的ですので、専門の分野にこだわらずソーシャルワークを考える機会にさせていただけたらと思っています。



高齢者・障害者虐待対応委員会

委員長 伊東圭一

<委員会 会場>

兵庫県福祉センター

<参加方法>

参加要件

①相談実務経験5年以上 ②認定社会福祉士認証・認定機構による認証研修『高齢者虐待対応研修』を受講すること。

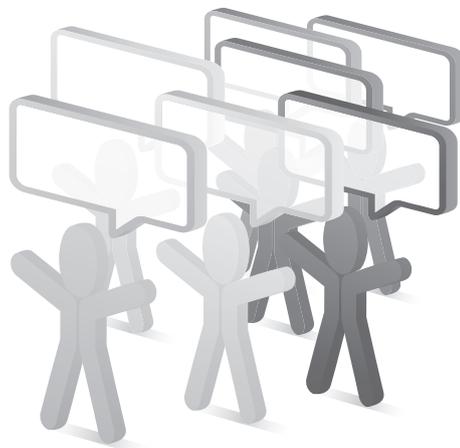
上記①②の要件を満たし、参加後、高齢者虐待対応現任者標準研修、基礎研修Ⅰ、成年後見人養成研修のすべてを、順次受講することとする。

<委員会内容>

当委員会では、虐待対応に特化したソーシャルワークを実践することにより、虐待の防止、早期発見、迅速な対応に資することを目的に活動をしています。具体的には、兵庫県弁護士会と「虐待対応専門職チーム」を設置し、県下市町（現在、7市3町と派遣契約）に研修を積んだ専門職を派遣して、個別ケースや事例検討会への助言や研修の講師な

ど行っています。

研修事業では、兵庫県より委託を受け『高齢者虐待対応力向上研修』『障害者虐待対応力向上研修』を市町職員や事業所職員を対象に実施しています。その他にも、市町職員や地域包括支援センターなど虐待対応の実践者向けに厚労省も推進している『高齢者虐待対応現任者標準研修』を開催しています。委員会活動はおおむね2ヶ月に一度開催し、各委員の活動報告や振り返り研修などを通じて、専門職としての質の向上にも努めています。



成年後見人養成研修を修了し、ぱあとなあ兵庫に名簿登録された方が、ぱあとなあ兵庫の会員となります。

ぱあとなあ兵庫運営委員会は名簿登録者の中からエリア毎に運営委員を選出し、定期的に運営委員会や名簿登録者研修会を開催するなど、会員の支援を主な活動としています。

<委員会 会場>

兵庫県福祉センター、各エリア研修会場

<参加方法>

ぱあとなあ会員登録後の参加

<委員会内容>

「権利擁護センター ぱあとなあ」は、公益社団法人日本社会福祉士会ならびに、各都道府県社会福祉士会が運営しています。各都道府県社会福祉士会の「ぱあとなあ」では、所定の成年後見人養成研修を修了した社会福祉士を成年後見人等の候補者として登録しています。神戸家庭裁判所各支部から依頼される成年後見人等の候補者を推薦しています。また、本会に問合せされた成年後見制度利用の相談支援を主な活動としています。



■ 委員会責任者名

Committee person in charge

研修委員会	近藤 健太	子ども家庭支援委員会	田邊 哲雄
調査研究委員会	井土 陸雄	実習教育支援委員会	乾 なち子
国家試験対策委員会	薄木 公平	独立型社会福祉士支援委員会	石原知佳子
広報委員会	胡中 智礼	障がい福祉委員会	尾崎 剛志
相談委員会	西垣 和仁	更生支援委員会	原田 和明
ソーシャルワーク研究委員会	酒井 淳子	地域移行支援委員会	國本 康夫
高齢者・障害者虐待対応委員会	伊東 圭一	生活困窮者支援委員会	谷口 智昭
ばあとなあ兵庫	兎住 剛	災害支援委員会	福田 崇徳
地域包括支援センター支援委員会	山内 賢治		

委員会活動についてご質問、問い合わせなどされる場合は、
下記アドレス宛にお問い合わせください。
syadanhyogo@hacsw.or.jp



うすき行政書士事務所 (うすき社会福祉士事務所併設)

いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉・介護サービス事業所を立ち上げたい
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 医療法人・社会福祉法人を設立したい。
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい
- 保育所・認定子ども園をやりたい
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書や相続に関する問い合わせを受けた。
- 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き ・株式会社、NPO法人など設立手続き ・障害福祉サービス事業の手続き
・介護・障害サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得 ・遺言書、遺産分割協議書作成
・相続対応や成年後見制度の活用など ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成 ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など (司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999

090-9264-7594

gosoudan@usuki-office.com

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)



兵庫県社会福祉士会

事務局員募集



- 募集人数 ▶ 若干名
- 業務内容 ▶ 事務局に関する庶務事務・研修関係事務等
- 応募資格 ▶ 兵庫県社会福祉士会会員であること
年齢 65 歳未満であること
- 勤務形態 ▶ 非常勤職員
(雇用期間:平成 30 年 3 月末まで。雇用更新の可能性あり)
- 勤務日数 ▶ 週 2 日以上 ※応相談
- 勤務時間 ▶ 9:00~17:00 (うち休憩 1 時間) ※応相談
- 就業場所 ▶ 兵庫県福祉センター5 階 兵庫県社会福祉士会事務所
- 待遇 ▶ 時給 1000 円。労災保険加入・有給休暇・通勤手当 (上限つき) あり。
- 応募方法 ▶ 履歴書・業務経歴書 (写真不要・書式自由) を Excel または Word にて作成の上、下記応募先までメールにてご応募ください。
- 応募期間 ▶ 平成 29 年 11 月 30 日まで
(ただし、採用者が決まり次第、応募を締切ります)
- 選考方法 ▶ 書類選考の上、面談にて採用を決定します。

<お問い合わせ・応募先>

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 <担当:西野>

〒651-0062 神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター 5F

電話:078-265-1330 FAX:078-265-1340

E-mail: nishino@hacsw.or.jp



兵庫県社会福祉士会キャラクター
「兵之助くん」

事務局情報

会 員 数

正会員 1,592名 (2017年8月末現在)

みなさんの周りにいる社会福祉士の方に入会をお誘いください。

職場を異動、または転居された場合は、住所変更届を必ず日本社会福祉士会へ提出して下さい。住所変更届等様式は、日本社会福祉士会のホームページからダウンロードできます。

※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、本会事務局までご連絡ください。

理事会報告

2017年度 第4回理事会

日 時：2017年7月22日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事 10名 監事 2名

<審議事項>

- 苦情解決委員会について
- 四半期決算について
- 選挙管理委員会規程の改正(案)について
- 2018年度役員改選スケジュールについて
- 職員給与規程細則(案)について
- 平成29年九州北部豪雨災害への支援について
- 兵庫県社会福祉士会専用キャラクター名について

今後の予定

2017年度 理事会・総会のご案内

【理事会開催日程】

第6回 理事会 10月28日(土)

第7回 理事会 11月25日(土)

第8回 理事会 12月16日(土)

第9回 理事会 1月20日(土)

第10回 理事会 2月17日(土)

第11回 理事会 3月24日(土)

【総会開催日程】

第17回 総会 3月24日(土)(2018年度予算)

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。

事務局連絡先

【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター5階
電話：078-265-1330
FAX：078-265-1340

【事務局員】

事務局長	西野 佳名子
事務局員	中村 智穂美
事務局員	北野 和香子
事務局員	胡中 智礼
事務局員	笹岡 久美
事務局員	萩原 美千紘

【事務局メールアドレス】

syadanhyogo@hacsw.or.jp

【ぱあとなあ兵庫事務局】

電話：078-222-8107

partner-jimu@hacsw.or.jp

【研修申込専用メールアドレス】

entry@hacsw.or.jp